

今週のビルマのニュース 2008年12月12日号【0839号】

今週の主なニュース：241人のアジアの国会議員が 国連事務総長に書簡

・12月3日に発表された元国家首脳112人からの書簡に続き、5日付でアジア諸国8か国の国会議員241人から、国連事務総長に宛てた書簡が出された。日本からも国会議員30人が賛同。ビルマを再訪し、年内に全政治囚を解放するよう軍政に働きかけることを事務総長に求める内容だった。

・国連事務総長は3日、ビルマを再び訪問したいが、政治改革が進む見込みがない限りはできないと述べた。事務総長はまた、元国家元首の書簡を受け、5日にビルマに関する関係国の会合を招集した。その後の記者会見で、事務総長はビルマで政治改革が進んでいないことに失望感を覚えているとし、ビルマと関係を持つ政府や企業に軍政に対して影響力を行使してほしいと述べた。

その他：地雷による死者が倍増、ほか

・民主化指導者アウンサンスーチー氏の弁護士が3日、自宅軟禁措置への異議申し立てについて氏と話し合うため、当局に面会許可を申請した。軍政は9日、異議申し立て手続きが現在進行中であるため、面会を許さないと回答した(11日付DVB)。

・10日、世界人権宣言の採択から60周年を記念し、日本に住む難民や市民団体など約350人が渋谷でパレードを行い、人権と自由の尊重を唱えた。多くの在日ビルマ人も参加し、アウンサンスーチー氏の写真を掲げ「ビルマに自由を！」と声を上げた。

・ビルマ外務省筋によれば、外務省の佐々江賢一郎外務審議官が18日から3日間、同国を訪問する(8日付日経)。

・地雷廃絶国際キャンペーン(ICBL)の年次報告書「ランドマイン・モニター」によれば、2007年にビルマで地雷により死亡した人の数が前年に比べ倍増し、400人を超えた。ICBLはまた、ビルマで一般市民が地雷の除去作業を強制されている問題も指摘している。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

新たな発表はなし

イベントなど

・上智大学アジア文化研究所「旅するアジア08」第4回講演会「エネルギーの本当の値段～ビルマ(ミャンマー)の天然ガス開発と人権」講師：秋元由紀(四谷・上智大学、12日18時～)

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクション - 国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、8～19日(土日を除く)15～16時)

・ビルマの会 講演会「ビルマの民主化を求めて～草の根難民支援活動から」講師：中尾恵子(日本ビルマ救援センター代表)参加費1000円(全額ビルマ難民支援に寄付)(京都・法然院、14日15時～)

・テラワダ仏教講演会—ミャンマーサイクロン被災者救援活動の現場から その祈りと行動 講師：ティータグー長老(ニャーニッサラ師)*ミャンマーの民芸品や料理の出店、写真展、舞踊、油絵もあり(名古屋市熱田区の本遠寺、15日、昼の部13時～・夜の部18時～)

・2008年度ワン・ワールド・フェスティバル～感じる・ふれあう・助け合う 世界につながる国際協力のお祭り 日本ビルマ救援センターによる活動紹介・ビルマ難民支援バザーあり。映画「ビルマ、パゴダの影で」21日10時より上映。フォトジャーナリスト宇田有三が解説(大阪国際交流センター、20日・21日、10時～)

ジェーン・バーキン最新アルバム『冬の子供たち』が発売中。アウンサンスーチー氏に捧げる楽曲「アウンサンスーチー」を収録。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165